|  |  |
| --- | --- |
| メンバー⽒名 | （ 　　　　　　　　　）役割：代表（ 　　　　　　　　　　）役割：（ 　　　　　　　　　　）役割： |
| 種別 | ■アカデミア共同研究提案 □起業前 □スタートアップ □中 ⼩企業 □⼤企業 |
| 代表メンバー連絡先 | 電話番号：メールアドレス：住所 |

|  |  |
| --- | --- |
| チーム名（会社名/研究科名） |  |
| 技術シーズ名 |  |

|  |
| --- |
| 【技術概要】技術概要は、技術の内容を簡潔に⽰し、技術の魅⼒をわかりやすく伝えてください。特に、技術によっ てどのような課題/ペインが解決されるのか、また、技術の優位性についても記載してください。 例）ＸＸＸＸＸＸＸＸという⼤きな課題がある。 我々はＸＸＸＸＸＸＸＸによって、当該課題を解決する。 XXXX の技術的優位性は○○○○である。 技術開発上の、現在の課題は XXXX である。 想定される顧客/市場は○〇○〇であり、ＸＸＸＸＸＸＸＸという理由で、当該サービスを利⽤（購⼊） する。 |
| 【技術分野（複数選択可）および事業領域】＜技術分野＞ □創薬、診断薬分野 　　　□診断機器分野 　□治療機器分野　　 □遠隔診断分□再⽣医療分野　　　　　 □その他（　　　　 ） ＜事業領域＞ □コンパニオンアニマル □畜産 □⽔産 |
| 【解決すべき課題／市場ニーズ（背景）】本事業の基盤技術で、どのような課題を解決できるか。 その課題を抱える顧客は誰か、どのような痛み（ペイン）をもっているか記載ください。 本事業の背景となる解決すべき課題や顧客やユーザーが有するニーズの記載してください。 |
| 【提供する技術、サービス、商品と提供対象】技術シーズを元に、誰に対してどのようなサービスや商品を提供するのか、提供する技術、サービ ス、商品を通じて課題やニーズがどう解決されるのかを具体的に記載してください。 まだ、商品・サービスが明確でない場合は、何が明確になればビジネスとして成⽴すると考えるか、を 記載ください。ビジネス化の前提に DSPAH との連携が必要であれば、どのような連携が必要か記載 ください。 |
| 【技術シーズの概要と技術の成熟度】本事業の基盤となる技術シーズの概要と現時点での成熟度（ラボレベル、試作段階（プロトタイプ）、 製品化段階など）を記載してください。本項⽬では専⾨⽤語をなるべく避け、多くの⼈が理解できる内 容としてください。 |
| 【技術の詳細】読み⼿に当該分野の前提知識があるとして、技術シーズの特徴をより詳しく記載してください。 |
| 【事業化に向けた体制の想定（DSPAH に求める連携体制）】＊現時点から事業の⽴ち上げにあたって、充⾜されていない要素（課題）を記載してください。 ＊上記の事業における課題を解決するために、DSPAH に何を求めるか（資⾦、設備、⼈員、アライア ンス先、⾃前のベンチャー設⽴／DSPAH との JV 設⽴／DSPAH への事業化権譲渡／共同研究開発） を記載してください |
| 【類似技術の評価（競合の状況）】＊提供する技術、サービス、商品の先⾏事例や類似技術について、その状況を記載してください。直接 的な競合だけではなく、課題の解決やニーズの充⾜が期待できる別の⽅法（間接的な競合）について も、可能な限り記載してください。 |
| 【チームメンバーの経歴】＊チームメンバーのバックグラウンド（経歴）や能⼒が事業の強み（優位性）になる場合、その内容を 記載してください。 |
| 【知的財産の状況】＊技術シーズおよびその周辺技術について、知的財産に関する権利の保有者（個⼈、研究室、企業との 共同保有など）あるいは権利化に向けた取り組みがあれば記載してください。企業との共同研究など がある場合は、可能な限りその旨を記載してください。 |
| 【DSPAH への期待】＊DSPAH との協業において、どのようなことを期待しますか？（共同研究、試験・評価、事業開発な ど） ＊上記に記載できなかった点も含めて、DSPAH に期待することを記載してください。 |

※応募された提案内容については合同会社 SARR、DSPAH の内部検討資料として活⽤するものであり、

応募者の承諾なく開⽰しません。ただし、タイトル、概要については本プログラムの告知の際に開⽰され

る可能性があるのでこの部分は開⽰可能な内容となるように留意して下さい。